

事務事業名	農道保全対策事業(雲南飯石地区負担金)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	農林道G	課長名	細木浩之
	施策名	<36>農業の振興	担当者名	内田俊行	電話番号	0854-40-1053
	目的	市内の農家 意 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業: 大事業名 0:1:3:0 0:6:業名	(内線)	2402
	対象	担い手農家・担い手以外農家 意 農業の生産性を維持・向上できるようにする。	項目 中事業: 中事業名 0:5:6:5 3:7:業名	県営農道整備事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 29 年度～ 33 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
事業主体は鳥根県 飯石広域農道の雪崩対策、法面保護、橋梁補修、路面補修を行う。 負担率25%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 負担金支出、地元調整		30年度計画(30年度に計画する主な活動) 負担金支出、地元調整		
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 負担金	千円			24,100	37,900
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	農業従事者	ア 受益面積	ha			1,583	1,583
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
雪崩対策、法面对策等を行うことにより、農作物や資材・耕作機械の輸送等に影響がなくなり、農業の生産性が向上する。	ア 雪崩対策工	箇所			2	2	
	イ 法面保護工	箇所			1	0	
	ウ 路面補修	m			261	400	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
・雲南飯石地区 事業費:96,400千円 市負担:24,100千円(25%)	事業費内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	地方債	千円			24,100	37,900
	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			24,100	37,900
	人件費	正規職員従事人数	人			1
	延べ業務時間	時間			100	
	人件費計(B)	千円			408	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			24,508	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H28年度に道整備交付金事業に申請し認定を受けた。要望額通りの割当がないため、5カ年の事業期間で完了するか不透明。	特になし。	地元からは早期の完成を望む声が多い。

事務事業名	農道保全対策事業(雲南飯石地区負担金)	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		見直し余地があるとする理由										
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒												
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒												
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 全路線が良好な路面で、また法面保護などが十分であれば、災害対策また事故防止につながり、農作物の運搬などが更に向上する。												
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 災害、事故防止には人命にもかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。												
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 県営事業であり、市の負担が低いため有利である。												
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 修繕にしても、オーバーレイなど安価な工法はあるが、耐用年数が短く再度修繕が必要になるため、十分に調査し、舗装基準に適した工法を精査する。												
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。												
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。												
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 通行者の安全性、農作物等の運搬作業軽減のため、継続的事业の実施が必要とされている。県営事業であるため、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。										
	<table border="0"> <tr> <td>A 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>			A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
県と連携し、引き続き円滑な事業進捗に努める。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						